

はんだ

市議会だより

No.210
2020.2.1



半田市議会へ



- 一般質問、13人が市政を問う! P.2~6
- 12月の定例会審議結果 P.7・8
- 市議会から日本語教育の必要な児童・生徒に対する日本語教育の充実を求める意見書を提出 P.8
- 議会報告会を開催 P.9
- 議会事業評価結果 P.10・11
- 建設産業委員会の委員会活動報告 P.11
- 半田高校生徒との意見交換会を開催 P.12

表紙写真／高校生との意見交換
(半田高校) P.12参照

市政を問う

一般質問

12月定例会における一般質問は、12月3日、4日、5日に行われ、13人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳しい内容は会議録でご覧いただけます。今定例会の会議録は市議会ホームページで3月1日頃から閲覧いただけます。または半田図書館、亀崎図書館にも設置してありますのでご利用ください。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

ごみ減量について



自民クラブ 嶋崎昌弘

減量のための有料化制度内容は正式に決定されたものではなく、計画案の段階です

問 令和3年4月からの減量のためのごみ有料化対象品目は何ですか

答 燃やせるごみ、燃やせないごみ、粗大ごみを対象とします。

問 手数料の徴収方法はどのようにしますか

答 指定ゴミ袋の販売価格を手数料にする指定ごみ袋制とします。また、ごみを直接クリーンセンターに搬入する場合は重さに比例した金額をその場で直接徴収します

問 指定ごみ袋の種類と価格をお伺いします

答 一枚の値段は大50円、中30円、小20円とします

問 手数料収入金額と用途をお伺いします

答 約2億5千万円で、ゴミ処理と資源化に対する費用及びごみ減量に関する施策の一部として活用していきます

問 家庭系ごみ収集方法で、戸別収集について

の考え方、及びモデル事業の実施についてお伺いします

答 現在のところ全市民的に戸別収集を導入する考えはありません。また、モデル事業についても実施する予定はありません

問 減量のための有料化にともない不法投棄・不適切排出の対策をどのようにしますか

答 職員によるごみステーションのパトロールの実施や監視カメラの設置を予定しています

問 令和4年4月の知多南部広域環境センター供用開始後のクリーンセンター及び福祉ふれあいプールの計画についてお伺いします

答 事務所、埋立最終処分場、資源回収センター、野球場等の施設は継続して使用していきます。焼却処理施設等、稼働が停止する施設は、国・県・市の関連部署と協議のうえ決定していきます。福祉ふれあいプールはクリーンセンター焼却炉からの熱源供給が受けられなくなりますが、都市ガスへの切り替えにより年間約3千2百万円の費用増で継続営業をしていきます



ごみ問題を問う



無所属 鈴木健一

市政懇談会で出された意見はどのようなものがありましたか

答 「新しいごみ袋はどこで購入できるか」「不法投棄が心配されるがどのような対応を考えているか」といったものがありました

問 不法投棄について、パトロールと監視カメラの設置を考えていると回答していますが、何処をパトロールして何処にカメラを設置しますか

答 ごみステーションを考えています

問 不法投棄というものはステーションに捨てられないものも含んでいます。そういう不法投棄に対しての対応はどう考えていますか

答 不法投棄禁止の看板を立てたり、私有地においては、所有者と協議して対策を立てていきます

問 地域意見交換会での市の見解について矛盾と説明不足との不満の声を聞いています。市はどのように対応していきますか

答 内容について矛盾や説明不足があるとは考えておりません

問 地域意見交換会の中で出た質問に、障がい者手帳、療育手帳をお持ちの方や生活保護世帯と低所得者世帯への支援はしないかと回答していますが、支援するべきと考えますがどうですか

答 毎月の負担額が小さいので問題ないと考えます

問 これは市民経済部長の考えかと思えます。市長も同じ考えですか

答 いまのところは同じです。ただ、検討すべきかと考えています

問 家庭系ごみ有料化の開始日に市の計画とズレがあるのは何故ですか

答 この計画はあくまで長期計画で、基本的な方針を定めた計画であるため、その方針を転換しない限りは見直しを要するものではありません



市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)



創造みらい半田
久世孝宏

データを分析して、調査をして、市政運営に役立てよう

問 統計情報を活用し、証拠に基づく政策立案を行う姿勢を半田市は持つべきと考えます。そこで、データの活用を積極的にいう意識を高めるために、統計情報だけでなくグラフ化したものや分析した結果もホームページに公表してはどうですか。

答 統計データなどの根拠に基づく施策の立案や、成果の検証にデータを活用することは重要であると認識しております。現在は人口に関するものをはじめ52種類の数値データをホームページで公開していますが、今後は統計情報のグラフなどをまとめたページを開いていきます。また、職員がデータ活用を積極的にいう意識を高める取組みとして、グラフ作成の研修や、外部講師を招いてデータ分析研修を実施するほか、職員によるデータ分析の勉強会などを行い、各課において、

データを利活用し施策に活かす職場文化を醸成していきます。

補助金等判定会議をより良いものに

問 現状の補助金等判定会議の仕組みでは、今年度交付されていた補助金等が、来年度から急に交付されなくなるものが起こり得ます。このことは、交付される側にとってみれば、前年度まで要綱に基づき適正に交付されていた、何より補助金等判定会議で承認されていた補助金がなくなるもので、少なからず資金繰りで困り、また納得のいきにくいことです。市民が困らない、納得のしやすい会議となるように改善をすべきと考えますがいかがですか。

答 毎年の会議で、どのような議論がなされたか、交付される側の市民にもきちんと伝えていくことで、前触れなく補助金が交付されなくなるということは避けられると思います。補助金等判定会議で行われた議論を交付される市民に正確に伝えたいかどうかを確認するシステムを考えます。



維新・半田市民の会
中川健一

国旗掲揚塔を除去するだけで再設置するのは問題だ

問 昭和59年図書館開設時に国旗掲揚塔が設置された理由を教えてください。

答 詳細は不明です。

問 図書館正面の国旗掲揚塔を平成31年3月に除去した理由は何でしょうか。

答 掲揚塔は設置後、35年が経過し、老朽化による倒壊の恐れがありました。来訪者や近隣にお住いの方への事故が懸念されたため、安全確保の面から除去をしました。

問 国旗掲揚塔を再設置する場合は費用はいくらと見積もりましたか。

答 180万円程度でした。

問 国旗掲揚塔をなぜ再設置しなかったのか理由をお尋ねします。

答 平成11年に定められた国旗及び国家に関する法律では国旗掲揚方法について特段の定めがありません。多額の費用をかけてまで掲揚塔を再

設置するのではなく、図書館正面玄関での国旗用スタンドを用いた国旗掲揚を続けております。

問 すると、半田市は所管する公共施設にある国旗掲揚塔は老朽化すると全て除去する方針でよろしいですか。

答 図書館の国旗掲揚塔はイベントでの使用がなく、館内で掲揚することでも祝意を表すことができますと判断しました。

問 半田市役所には国旗掲揚に関する条例やルールがありますか。

答 ありません。また作る考えはありません。

問 国旗掲揚塔を除去するにあたり、市民協働を掲げる市長は近隣住民以外の半田市民のご意見は伺っていますか。

答 聞いていません。

問 小学校の学習指導要領では国旗国歌を尊重する態度を育てることになっていきます。ところが半田市長は国旗掲揚塔除去後、数か月間、椅子に国旗を括りつけて掲揚するなど国旗のいたをぞんざいに扱っていたのではないのでしょうか。

答 今はスタンドで国旗掲揚をしています。



維新・半田市民の会
竹内功治

子育てをするなら半田市と呼ばれるための取組み

問 出産や乳幼児のいる家庭への支援は充実していると考えますか。

答 「はんだ子育て、孫育て応援ブック」の作成や「つくし学園」「ふたば園」等で発達に課題のある子どもへの支援、妊産婦へのヘルパー派遣事業など、支援は充実してきたと考えています。

問 市民に寄り添う支援の充実に加えて、出産祝い金等の市外の方が半田市を選ぶような取組みは考えていませんか。

答 出産祝い金等の取組みは考えていません。

問 半田市として出産されたご家族のお祝いをするために、オリジナルの出生届や記念証等を発行してはどうですか。

答 記念証ではないですが、ご家族が半田市への愛着を深めて頂くため、来年度からの予定で市長のお祝いメッセージとガーゼ等の記念品をお渡しす

る準備を進めていきます。

問 公共施設で車いすや高齢者、妊婦の方等が利用できる優先駐車場について、ベビーカーを使用する方も利用できるようにマークや文言を表示すべきではないですか。

答 施設ごとに利用者の状況を考慮して表示すべき考えますが、市役所のおもいやり駐車場は表示するようにします。

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果から何う

問 半田市の小学生は全てにおいて低い、中学生はやや低いという結果をどう考えていますか。

答 結果は残念ですが学力だけでなく同時に調査している生活習慣等の内容を基に改善を図り、中学生で実施する全国標準学力テストは全国平均より高くなっています。

問 調査の結果が良い秋田県内で実施している家庭学習ノート等の取組みを行い、学力向上を目指してはどうですか。

答 家庭学習ノート等は、考えていませんが、「半田市キャリア教育」をベースに授業改善に取組み学力向上を目指します。





創造みらい半田
水野尚美

ひきこもりに対する 支援体制を問う

問 ひきこもりに関する相談窓口が明確でなく、また情報が必要な方に届いていないと考えますがいかがですか。

答 本市の相談窓口が生活支援課だということや、リーフレットの配置を考慮するなど必要な方に届くようにします。

問 義務教育終了時、地域や他の相談窓口にも必ず繋ぎ、本人と家族に関わり続けることが重要だと思えますがいかがお考えですか。

答 中学校卒業時の進路選択相談の中で、社会福祉協議会や生活支援課と繋ぐ機会を設けています。

問 民間団体と連携して行政だけでは解決できないことが限られるため、不登校・ひきこもり支援団体や、就労支援団体、事業者など様々な民間団体にご協力いただくなど連携しています。本人支援は勿論のこと、家族の支援が更に重要だと思いませんか。

答 家族が問題を抱え込まず、孤立させないよう支援に努めます。

問 訪問支援などアウトリーチも必要だと思いますが、いかがお考えですか。

答 家庭訪問や外出支援などをしていますが、今後社会と繋ぐ仲立ちを視点にもって取り組みます。

問 実態調査が必要だと思いますが、いかがお考えですか。

答 今年度末に実施する「第2次地域福祉計画」策定のためのアンケート調査の中で、ひきこもりに関する設問を設け、実態把握に努めます。

問 ひきこもり支援を専門的に行う窓口や居場所の設置が必要だと思いますが、いかがお考えですか。

答 専門窓口の設置は考えていませんが、生活支援課において真摯に対応し、家族会などの活動には寄り添って支援します。また、相談窓口の存在を明確にするため、市報やリーフレットによる啓発を図るとともに、民生・児童委員や福祉事業所等へ積極的に周知します。



市政を問う

一般質問（質問議員が執筆しています）



公明党
山本半治

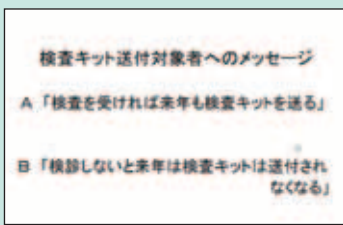
ナッジ理論で延ばす 健康寿命

問 健康寿命を延ばすに「特定健診とがん検診」の受診率を上げることが重要です。東京都八王子市では、（人の心理に働きかけることにより行動を変える）ナッジ理論を活用して大腸がん検診の受診率を上げる取り組みとして、対象者へのメッセージをA「検査を受ければ来年も検査キットを送る」B「検査しないと来年は検査キットは送付されなくなる」としてアップしていました。

答 東京都足立区では、健康に関心を持たない区民であっても住んでいるよう、ナッジ理論を活用して野菜たっぷりメニューを提供する協力店を募り健康寿命を延ばす取り組みを行っています。メタボ該当率県内1位の半田市も足立区の取り組みを参考にすべきと考えますがいかがですか。

問 足立区の取り組みを参考にナッジ理論を活用して健康寿命を延ばす対策を行います。

答 ナッジ理論はコストをかけずに成果が期待されます。全庁をあげて取り組む考えはあります。職員に有効性を周知し、若手職員による「仕事改善活動」の提案の中にも取り入れていきます。



志民ネット
小出義一

企業誘致と渋滞対策 そして定住化促進

問 「企業誘致」により人口減少に歯止めをかけることができた。この状況を維持するには、渋滞対策が必要。この3年の間に、4千人規模の工場が進出していますが、渋滞緩和のためどのような取り組みがあったかお聞かせ下さい。

答 衣浦大橋西側交差点の改良工事が完了しました。また臨海部の企業に、時差出勤やバス運行、自転車通勤などの協力をお願いしてきました。

問 臨海部の企業の中で、新たに事業規模を拡大する計画があるとのこと。今後、どのような渋滞対策を考えているかお聞かせ下さい。

答 衣浦大橋周辺の渋滞対策については、衣浦大橋の左折レーン整備を進めています。また交通量分散を図るため、都市計画道路環状線の早期完了に向けた整備を進めています。

問 日東町・潮干町の臨港道路では、対向車が途切れないと右折して工場内へ侵入できない箇所があり、事故が多発する危険箇所になっています。工場内への専用レーンなどを設けるなど対応が必要。どのようにお考えかお聞かせください。



答 設置が可能かどうか関係機関と協議する必要があります。企業から設置希望があれば、関係機関との協議の調整役を務めていきます。

問 臨港道路周辺の企業の自家用車通勤増加が、渋滞発生の原因です。バス運行を義務化することも必要と考えますがいかがでしょうか。

答 企業側と全体的な影響について確認し、既存の従業員も含めどのような対応が出来るか、から協議していきます。



公明党 坂井美穂

災害時に一人も「置き去り」にしない対策について

問 高齢者等への情報伝達について、屋外拡声スピーカーが明瞭に聞こえず、停電を併発しテレビからの情報収集や電話での聞き直しができないケースの対策は準備していますか。

答 日頃から顔の見える地域連携が最良の対策であり、ご近所や自主防災会における情報伝達と避難支援の体制づくりを啓発していますが、既存のシステムを活用した防災ラジオの運用が可能です。どうかを調査します。

問 外国人の命を守る情報伝達の方法として、防災情報の多言語化を実施すべきと考えますが、いかがでしょうか。

答 外国人への災害情報は、ホームページと併用してあり、それぞれに翻訳機能がありますが、ホームページは正確な翻訳ができていないため、辞書機能を活用して精度を担保します。また、学校メ

ルマガでの災害情報の配信も多言語化し、学校に通うお子さんがいない方々へも登録を促していきます。

問 市民への災害情報の伝達手段が周知できていないと感じますが、今後どのような取り組みを行いますか。

答 情報伝達手段だけでなく、マイタイムラインについても市報や自治区の防災訓練などを通して周知し、どのような情報伝達手段を活用してどこに避難するのかを市民に理解していただくための情報を提供します。

子どもの目の健康と未来を守る取り組みについて

問 3歳児健診の視力検査において、屈折検査機が導入の有効であると考えますが、いかがでしょうか。

答 お子さんの視力を守っていくことは大切ですので、導入について検討します。



志民ネット 小栗佳仁

児童虐待・不登校・ニート・ひきこもりの予防と対策

問 児童虐待の現状と対策について伺います。

答 昨年度の虐待件数は、前年より8件増の109件です。気軽に相談できる体制を整え、専門機関と共に未然防止に努めています。また、実務者間の情報共有や意見交換などの連携した支援を行い、必要に応じて家庭児童相談員が家庭訪問を行っています。

問 不登校の現状と対策について伺います。

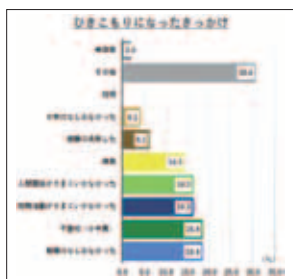
答 不登校は前年に比べ44人増の206人です。教員との面談などにより、悩みを抱える児童生徒の早期発見・早期対応に努めています。外国籍の子どもは不登校は、絶対数は少ないものの、割合としては日本人より多いのが現状です。日本語担当教員や支援員による指導・支援に力を入れ、安定した学校生活に繋がるよう努めています。

問 ニートの現状と対策について伺います。

答 ニートは外国人も含め約660人と推計しています。サポートステーションで当人や家族から相談を受け、専門的な相談や訓練など、就労に向けた支援を行っています。

問 ひきこもりの現状と対策について伺います。

答 ひきこもりは、約1100人と推計しています。昨年度の対応件数は、33件でした。定期的面談や、訪問に加え外出支援・医療受診・就労支援など、個々に合わせた支援を行っています。今後は、相談窓口での聞き取りなどにより、要因分析をし、部署間の連携を図り未然防止に努めていきます。



公明党 山田清一

ごみ減量と分別推進

問 事業系ごみの減量・分別の推進について、半田市による排出事業者への啓発・指導は、今後どのように取り組んでいきますか。

答 ごみ出しのルールが排出事業者者に十分理解されていないことも考えられるため、「事業系ごみの分け方・出し方マニュアル」を作成し、今年度市内事業者者に配布し、ルールを徹底します。また、多量排出事業者へ直接訪問し、「事業系ごみ減量計画書」の提出を要請するなど、ごみの減量と分別について啓発・指導を行います。

問 「紙製容器包装」その他紙類を「ミックスペーパー」「雑紙」など、新たな名称で回収してはどうですか。

答 分別の周知を図るとともに、名称の変更は、家庭系ごみ有料化やごみ処理の広域化の時期に合わせて十分な説明機会を確保したうえで実施したいと考えます。

災害廃棄物処理対策

問 半田市災害廃棄物処理計画で一次仮置場の不足分が明確になっていません。候補地はどこになりましたか。

答 クリーンセンター内のグラウンド及び最終処分場用地を併せ、みなと公園及び潮風の丘緑地を追加選定しました。

問 一次仮置場のみでは対応できない場合、災害廃棄物を搬入し、保管・機械選別・再資源化等を行う二次仮置き場の候補地はどこですか。

答 具体的な候補地の選定にまで至っておりませんが、災害廃棄物に対する迅速かつ適正な受け入れ体制の確保のため、早急に二次仮置き場の候補地を選定します。

問 平常時に大規模災害を想定した訓練が必要だと考えますが、どのように取組めますか。

答 今年度の半田市総合防災訓練において、災害廃棄物処理に関する訓練を実施し災害発生時の課題について、対策を検討するワークショップを行いました。災害廃棄物処理に関する訓練を実施するとともに、対策を進め、不測の災害に備えます。





創造みらい半田 伊藤正興

文化財の防火対策について問う

文化財所有者への半田市としての支援策を教えてください。

文化財所有者への支援策は、半田市文化財保存事業補助金として、文化財防火設備設置事業と文化財保存伝承事業があります。防火設備設置に対する補助は、近隣の他市町に先駆けて実施した制度であり、多くの山車が所在する半田市ならではの支援策となっています。

防火対策のさらなる強化が必要と考えますが、見解を伺います。

文化財を所有している方の中にも、まだまだ充分でない方もいます。文化財としての価値の高さと半田市として防火設備に対する補助制度があることを再度、周知して改めて啓発していきます。

鉄道資料館の消火設備について問う

鉄道資料館に消火設備が設置されなかつ

た理由を教えてください。建物の用途、規模から消防法による消火設備の設置義務がなく、また、建物内に火気を取り扱う設備を備えていなかったことから、開館当初より消火設備の設置は考えていませんでした。

新たに消火設備の設置を提案しますが、見解を伺います。

資料を適切に保存していける対策(消火器設置)を早急に行います。

公共施設の消火設備について問う

今回を機に再度、公共施設の消火設備の確認を提案しますが、見解を伺います。

消防法上の適用を受ける公共施設は、万全と考えています。但し、消防法上の適用を受けない小規模な公共施設は、細部にわたって検証が来ていません。今回を機に各施設の施設長に対して再度、消火設備の必要性を検証してもらうよう通知を出し、早急の実施します。



創造みらい半田 芳金秀展

グローバル社会の中で誰もが輝ける人材育成とまちづくり

新学習指導要領によって新しく導入される、小学校の英語教科化に対し、教員への支援をどのように考えていますでしょうか。

ALT(外国語指導助手)の継続配置や愛知県教育委員会への英語専科の教員の増員要望を行うとともに、現場のニーズに応じた研修会を開催するなど支援をしていきます。

今後のグローバル社会に対して、義務教育課程の中でどのような人材を育成する必要がありますかと考えていますか。

子供たちが未来に向かってきます。そのため、自分の可能性を信じ、自分が育った「ふるさと半田」を知り、地域への誇りと愛着をもち、異文化を理解し、多様な人々と協働していくことができるような人材を育成することが必要です。



(SDGsゴール4)



その上で、今のキャリア教育に英語を中心とした語学力の向上も必要になってくると考えています。

第7次総合計画の策定にあたっては、「社会経済情勢の変化を的確に捉えた計画づくり」を策定の基本的な視点の一つとして掲げており、様々な局面で進むグローバル化についても、半田市に影響を及ぼす重要な社会環境の変化と捉えていくことにします。まちづくりの課題においては、インバウンドの拡大や教育環境の変化、外国人市民の増大に対応した地域社会づくりなど、グローバル社会における課題や外部環境の動向を整理しています。今後の基本構想、基本計画策定においては、この視点に配慮して進めていきます。

今後の本会議の予定

3月定例会

2月20日(木)~3月24日(火)

※会期中の日程は約1週間前の会議で決定します。

ぜひ、本会議をご覧ください。

本会議の一般質問は(翌日以降となります。)

- ケーブルテレビCACで放送
YouTubeで動画配信

を行っています。

また、議場へもお出かけいただき本会議のやりとりをご覧ください。

審議結果 令和元年第5回定例会（12月3日～13日）

（ ）内は議案の補足説明です。

■全会一致の案件

| 議案番号等 | 議案名 |
|-------|---|
| 議案76 | 令和元年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (税収増の見込みや補助金の増額などにより、一般財源を充当し、借入をやめるもの等) |
| 議案78 | 令和元年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第2号 (保険給付費の伸びによる追加分等によるもの等) |
| 議案79 | 令和元年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第3号 (人事院勧告を受け職員の給料、勤勉手当、住居手当の支給額の改定をするもの等) |
| 議案80 | 令和元年度半田市立半田病院事業会計補正予算第3号 (入院患者数増による医業収益の増額と、独立行政法人へ移行可能な財務状況か、チェックする委託料等) |
| 議案81 | 令和元年度半田市下水道事業会計補正予算第2号 (JR武豊線高架化工事に伴い、支障となる水路を移設するもの等) |
| 議案82 | 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について(地方公務員法の改正に伴う条例の改正) |
| 議案85 | 半田市職員の給与に関する条例の一部改正について (人事院勧告を受け職員の給料、勤勉手当、住居手当の支給額の改定をするもの) |
| 議案86 | 半田市手数料条例の一部改正について (国の法律改正に伴い、関係する認定申請手数料規程の整理を行うもの) |
| 議案87 | 半田市児童発達支援センター設置条例の一部改正について (居宅訪問型児童発達支援を実施するもの) |
| 議案88 | 半田市下水道条例の一部改正について (責任技術者が各市町村から愛知県下水道協会へ変更されることに伴う改正) |
| 議案89 | 半田市固定資産評価審査委員会の委員の選任について (任期満了に伴い引き続き平野敬之氏とするもの) |
| 諮問1 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて (任期満了に伴い引き続き神谷敏子氏とするもの) |
| 決議案1 | 交通死亡事故根絶についての決議について |

■その他の案件

| 議案番号等 | 議案名 |
|-------|---------------------------------------|
| 報告20 | 専決処分報告について(公用車両が関係する事故の和解及び損害賠償の額の決定) |
| | 常任委員会の中継報告について(建設産業委員会の委員会活動報告) |

ストップ・ザ 交通事故 **高めようモラル 守ろうルール**

半田市議会は、改めて交通安全意識を喚起し、関係者及び市民が一体となり、交通死亡事故根絶に全力を挙げて取り組むことを決議しました。(令和元年12月3日決議)

**交通死亡事故根絶
についての決議**

愛知県下の交通事故死亡者は、16年連続全国ワースト1位という危機的状況です。市民一人ひとりの交通安全意識の向上を図り、高齢化社会の進展に対応した実効性ある交通安全対策の推進が急務です。

■賛否の分かれた案件

| 議案番号等 | 議員名 議案名 | 創造みらい半田 | | | | | | | | | | 公明党 | | | 維新・半田市民の会 | 志民ネット | 自民クラブ | 無所属 | 議決結果 | | | | | | | | |
|--------|--|---------|------|-----|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|-----------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | 石川英之 | 芳金秀展 | 沢田清 | 水野尚美 | 鈴木幸彦 | 伊藤正興 | 澤田勝 | 岩田玲子 | 渡辺昭司 | 久世孝宏 | 榊原伸行 | 山田清一 | 坂井美穂 | 山本半治 | 加藤美幸 | 中川健一 | 竹内功治 | | 小栗佳仁 | 小出義一 | 新美保博 | 嶋崎昌弘 | 鈴木健一 | | | |
| 議案 75 | 令和元年度半田市一般会計補正予算第3号 (人事院勧告による職員給与等の増額、J R武豊線連続立体交差化事業において、支障となる水路用地の取得によるもの等) | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 原案可決 | | |
| 議案 77 | 令和元年度半田市 J R 半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第1号 (用途買収箇所の変更や、税収増の見込みなどにより、一般財源を充当し、借入をやめるもの等) | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | | |
| 議案 83 | 半田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について (人事院勧告を受け条例の一部を改正するもの) | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 原案可決 | |
| 議案 84 | 半田市特別職員の給与に関する条例の一部改正について (人事院勧告を受け条例の一部を改正するもの) | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 原案可決 | |
| 意見書案 2 | 日本語教育の必要な児童生徒に対する日本語教育の充実を求める意見書の提出について | 議 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 原案可決 |

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員

反対討論

議案75・83・84号に反対

鈴木健一議員

第83号半田市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例、第84号半田市特別職員の給与に関する条例、第75号令和元年度半田市一般会計補正予算第3号に反対します。

人事院勧告に基づき、特別職及び議員の期末手当の支給割合を引き上げるためのもですが、市民の暮らしを鑑み、理解は得られないと考えます。

議案75・77・84号に反対

中川健一議員


一、9月議会で固定資産の課税誤りにより市長、副市長の給与を削減した。人事院勧告に基づくとは言え、3か月後に市長、副市長の給与を年間約7万円、約6万円上げることは庶民感覚ではありえません。
二、J R 武豊線高架化関連事業は一時間に往復4本しか走っていない単線の鉄道を高架化するのに約287億円もの税金使う無駄使い事業です。

議 会 議 決

「日本語教育の必要な児童生徒に対する日本語教育の充実を求める意見書」

国へ提出

- 市内の小中学校に通う子どものなかには、日本語でコミュニケーションがとれない外国籍の子どもが多くおり、今も増加傾向。
- ポルトガル語・スペイン語他9か国超の児童に対し、母語の解らない先生が日本語の教育や学校でのルールやマナーを指導。
- 学校連絡や学習相談などで保護者とのコミュニケーションにも苦慮している現状。
- このような要因は外国人労働者の法律改正により、外国人の滞在期間が延長されたことなど国の責務を考慮し、国に対し意見書を提出しました。
- 「創造みらい半田」「公明党」「維新・半田市民の会」「志民ネット」4会派の代表の議員提案で発議し、1会派2名を除く全ての議員の賛同で可決、国に対し意見書を提出しました。



第26回議会報告会「市民と議会のつどい」を開催しました！

10月4日(金)、19時30分から雁宿ホールにおいて、議会報告会を開催し、21名のご参加をいただきました。第1部では、9月定例会の審議内容などを報告し、第2部では、参加された市民の皆さまと意見交換会を行いました。

意見交換では、いじめ不登校対策、市内バス路線の空白地域のこと等、さまざまなご意見をいただき、ありがとうございました。

意見交換会で頂いた主な質問と回答



Q ごんくるバスの今後の運用についての討議はどのようになっていきますか。

A バス路線の空白地域については地域ごとに「地区バス会」を立ちあげていただき、地域で必要とされる要望について議論をしていただいています。

Q 半田病院が新しくなりますが、議会側が市へ示した要望があれば教えてください。

A 新半田病院へのアクセスについては、議会として「新半田病院へのアクセス調査特別委員会」を立ちあげ調査研究をし、市へ2点のことについて要望をしています。

①道幅を広くするなど市内からのアクセス道路の改良をすること

②環状線の整備を行い亀崎・乙川地区からのアクセス時間の短縮を図ること。

Q いじめ不登校対策事業について、小学校の不登校が増えていると聞きますが、その原因など議員としての考えを聞かせてください。

A 無理して学校へ行かなくてもよいというアナウンスが影響していることが一つの原因と考えます。

また、核家族化から多くの方と接しながら生活する機会が減り、対人的に苦しい思いをする環境を生み出していることが要因ではないかと考えます。

Q 半田病院と常滑市民病院の統合計画について、具体的に進んでいるのか、現在の進捗状況を教えてください。

A 両病院間では、「統合会議」が開催されており、経営統合については決定しています。

Q J R 高架化事業について、事業費の内訳を教えてください。

A 現時点での総事業費は、約286億7,000万円です。

その事業に係る分担金内訳につきましては、次のとおりです。

- | | |
|------|-------------------|
| ①半田市 | 約100億8,325万円 |
| ②国 | 約132億3,056万8,000円 |
| ③県 | 約44億833万3,000円 |
| ④その他 | 約9億4,784万9,000円 |

次回、第27回議会報告会「市民と議会のつどい」

■とき：令和2年4月3日(金)

■時間：19時30分から

■場所：アイプラザ半田 研修室

■内容：3月定例会報告、意見交換会など

議会を身近に感じていただけるよう、議員が直接市民の皆さまに分かりやすくお伝えします。お気軽にお越しください♪



総務委員会所管分

| 個別施策名 | 広報活動及び情報提供の推進 |
|---------|---|
| 問題提起 | ①民間等の専門スキルを有する人材を活用すること。 ②市政への関心、又は半田市の知名度が向上する事業を追加すること。 ③子育て世代に向けたインパクトのある施策を考えること。 |
| 市長からの回答 | ①職員の知識・スキル・意識向上を図るため、民間から専門スキルを持つ人材を講師として活用し、研修会を行っている。 ②平野泰新さんを半田市PR大使に任命し、知名度向上のための取り組みの実施に加え、令和2年度からは、企画課が一括して予算措置を行います。 ③LINEを活用し、適切な世代にターゲットを絞った広報を行います。 |

| 個別施策名 | 防災拠点とネットワークの整備 |
|---------|---|
| 問題提起 | ①屋外スピーカーが聞こえない市民への情報提供手段の改善が必要です。 ②アナログ無線からデジタル無線への早期更新を行うこと。 |
| 市長からの回答 | ①既存施設の更新時期に、拡声スピーカーの形式変更や非常用バッテリー容量の見直しと、既存の防災行政無線設備を活用した、防災ラジオ機器の運用の検討します。 ②令和5年度に消防団車両19台と資機材搬送車1台をデジタルに移行します。 |

市民の皆様大切な税金を有効に使うために…

事業評価を行いました

令和元年9月に行った事業評価の審査結果をお知らせします。

半田市議会
事業評価へ



| 個別施策名 | 犯罪を防止する地域や家庭の備え |
|---------|--|
| 問題提起 | ①特殊詐欺防止のための啓発事業を強化すること。 ②特殊詐欺防止アクションプログラムを作成すること。 |
| 市長からの回答 | ①詐欺手口の紹介や警察官による講話、ホームページやメールを使った周知など、特殊詐欺の啓発に引き続き取り組みます。 ②令和元年度内に、アクションプログラムを作成します。 |

文教厚生委員会所管分

| 個別施策名 | 子どもの健全育成 |
|---------|--|
| 問題提起 | ①児童センター遊戯室のエアコン整備が遅れており、今年の夏休みは利用日数が限られていたそうです。早急に整備が必要です。 |
| 市長からの回答 | ①令和2年夏休み前までに、すべての児童センター・館の遊戯室にエアコンを設置します。 |

| 個別施策名 | 教育相談の充実 |
|---------|--|
| 問題提起 | ①いじめ不登校対策において、相談できる体制が整ってきたことは評価できますが、不登校の児童数は増加しています。実態に対応できる対応を求めます。 |
| 市長からの回答 | ①来年度予算において、教育相談員と心の教室相談員を各1名、また特別支援学級補助員3名を増員し相談体制の強化を図ります。その他、連携強化として、相談体制パンフレットの配布や親の会の開催などを実施します。 |

| 個別施策名 | 文化財の保護 |
|---------|--|
| 問題提起 | ①旧中埜家住宅保存管理事業は、約2億円をかけ修理をしてみました。現在は年間2日間の特別公開のみです。建物の価値に相応しい観覧ができるよう改善を望みます。 |
| 市長からの回答 | ①現在も小中学校の郷土学習で利用いただいています。学校に限らず、団体の視察・見学は随時行っています。市民がふれ親むことができるよう、関係者と調整しながら機会の提供に努めていきます。 |



建設産業委員会所管分

| 個別施策名 | 立地促進のための支援 |
|---------|---|
| 問題提起 | ①企業立地に関するホームページに魅力が全くない。 ②企業立地の土地がないため、企業の市外流出が予想される。 |
| 市長からの回答 | ①各課が企業立地に関する施策を実施しているため、その内容を市ホームページに追加掲載します。 ②場所の不足に対し、早急に工業団地の完成を目指します。また交通渋滞対策などインフラ整備を行い、企業の円滑な事業運営をサポートします。 |

| 個別施策名 | まちなか居住の推進 |
|---------|--|
| 問題提起 | ①まち中居住推進に関するビジョンがない。 ②JR半田駅前と知多半田駅前以外の鉄道駅周辺でのまち中居住の議論が全く進んでいない。 |
| 市長からの回答 | ①都市計画マスタープランの改定において、まち中居住の方針について検討するとともに、パブリックコメントによる市民意見を反映することで、理解を得たいと考えています。 ②都市計画マスタープランの地域別構想の策定段階において、地域住民を対象にワークショップを行う予定であり、その中で議論をしていきます。 |

| 個別施策名 | (景観に対する意識向上の) 啓発活動の推進 |
|---------|---|
| 問題提起 | ①景観形成重点地区とは何か理解されていないし、なぜ景観形成重点地区に指定されているかの理由も理解が得られていない。 ②景観について市民に理解を得ると言う観点で欠落している。 |
| 市長からの回答 | ①これまでのようにチラシを配布したり、イベントと連携して、景観形成重点地区に指定されていることの周知に努めます。 ②景観補助の活用についてのPR動画を平成28年度に作成し、チラシなどに動画へ誘導するQRコードを添付して岩滑地区へ一度、亀崎地区へ一度チラシを配布しました。引き続きチラシの配布で啓発に努めます。 |



建設産業委員会活動報告(要旨)
調査テーマ
「都市計画マスタープランから見た景観を活かしたまちづくりと地域活性化について」
半田市における景観を生かしたまちづくりでは平成22年策定の景観計画と連動しながら景観形成に寄与する建築物等への助成を行う景観形成重点地区整備

事業と、ふるさと景観づくり推進事業などを実施しています。

しかし、例えば岩滑地区では彼岸花の風景は素晴らしいのですが新美南吉記念館から南吉の生家までを歩くと建築物によるまち並みの形成は進んでいません。一方で半田運河周辺地区ではまち並みが形成されつつある中、キッコウトミに代表される蔵の風景など今後の展開に重要な建築物が補助金を活用した保存修繕ではなく解体が進む現状があります。

以上のように、地区ごとにそれぞれ固有の問題を抱えています。そこで、当委員会は

先進事例として半田市と同様の「歴史・文化・伝統を活かしたまちづくり」を掲げ、日本のみならず世界中から多くの観光客が訪れている石川県金沢市を視察調査しました。

その結果として、次の3点を提言します。次

1、景観形成重点地区の市民の皆さんに、景観形成とは何かをご理解いただいたうえで、自分たちのまちの景観を生かしたまちづくりをどうしていきたいかご意向を伺うこと。その際は金沢市の都市計画マスタープランの改定時の様に、まずは市民のご意見を伺うという形で、前回の都市計画マスタープランを叩き台として各地区を回り、市民の新たな考えをマスタープランへ盛り込むなどの方法を参考にすること。



2、景観を生かしたまちづくりをするとの意向が確認できたのならば、どのようなゴールを目指すのか、予想図と時期を景観形成重点地区の市民が主体的に作り上げることを市はサポートすること。同時に、金沢市のごまちなみ保存区域に指定されている大野まちなみ委員会を参考に、3つの景観形成重点地区に、研究会・保存会など市民主体の組織を立ち上げていただくこと。

3、市は景観形成重点地区については以下4事項を実行すること。
①金沢町家のように、残すべき古民家の選定と保存のルール作りを行うこと。
②古民家を改修する助成金の使いやすい制度への見直しを行うこと。
③古民家の改修を進める仕組み作りの仲介役となる専門家の派遣や情報バンクを設置すること。
④景観を大切にする啓発活動と人材育成。

市議会交流企画委員会

茶話会 with 議員

申込みページへ



- 日時** 令和2年3月26日(木)
午前10時30分～正午まで
- 場所** 半田市役所 5階傍聴ロビー
- その他** 事前申込制 (参加費無料)
定員：親子15組程度



子育て中の心配ごと
半田市のことで気になること、
一緒にお話しませんか？
皆さんの声を
聞かせてください。

半田高校の生徒の皆さんとの 意見交換会を開催！

多くの方に市議会に関心をもっていただける『市議会だより』となるよう
半田高校の8名の生徒の皆さんと意見交換会を行いました。

<議会だよりについて>

- ・ 2色刷の緑色は暗い、キツイなどの印象があるため暖色にしてはどうか。
- ・ 数字はグラフで表したり、イラストを活用したりした方が見やすい。
- ・ 質問や審議結果のページなどをテーマごとにする
と関心が寄せられるのではないか。

いただいた意見を参考に、
積極的に改善していきます。
先生方、参加いただきました生徒の皆さん、
ご協力ありがとうございました。

<若い世代に市議会への関心を持たれるには>

- ・ 議会広報にInstagramやTwitterなどを活用してはどうか。
- ・ 市議会のラインスタンプがあると、面白いし、中高生からの関心が高まるかも。



あとがき

半田市議会では、このはんだ市議会
だよりの他に、ホームページでも本会
議や各委員会の会議録等をご覧いた
くことができます。特に市政に関する
一般質問の様子は、動画でご覧いた
くことが可能です。

このページの編集・発行 半田市議
会の左側にあるQRコードから半田市
議会のページにアクセスできます。ま
だ見たことのない方は、ぜひご覧く
ださい！

広報委員会

- 委員長 中川 健一
- 副委員長 山本 半治
- 委員 小出 義一 / 伊藤 正興
- 委員 澤田 勝 / 久世 孝宏

編集・発行 半田市議会

〒475-8666
半田市東洋町2-1
TEL 0569-84-0694
FAX 0569-24-7185
E-mail: gjj@city.handa.lg.jp



半田市議会へ
QRコードは特許登
録商標です。